



飛騨っ子

令和3年9月22日 発行 NO7
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL：0577-33-1111（内線235）
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



PTAとしてできること

◇ 下呂市 PTA 連合会（母親・研修委員）研修会の取組

- 期 日 令和3年8月20日（金） ○ 会 場 下呂市星雲会館
- 参加者 下呂市内小・中学校の PTA 役員
- 内 容 ・「よりよく子どもを育てていくために」（PTA 連合会事務局）
 - ・「いのちのふれあい講座」の実践（市民活動推進課）
 - ・「家庭教育に関する学びを充実させるために」（飛騨県事務所）



生まれてきてくれて
ありがとう!

・研修会 開催への思い

コロナ禍により延期を繰り返しながらも、開催に踏み切られました。

「今年度も新型コロナウイルスの影響で様々な制約を受ける日々ですが、子どもたちが健やかに成長していくよう、PTAとしてできることに精一杯取り組んでいきたいと思っております」（案内文より）

・岐阜県 PTA 連合会定期大会（6月開催）の内容を伝える

事務局からの県 PTA 連合会定期大会講演会（演題：「社会の変化とこれからの子育て」講師：横浜創英中学・高等学校 校長 工藤勇一氏）の内容や、「母親委員会」から「家庭教育委員会」や「子育て委員会」へと名称を変更するPTAが増えている動きなどの伝達は、役員みなさんへのよい刺激となりました。

・地域における家庭教育推進の実践を伝える 命の大切さ

市民活動推進課の家庭教育担当者による下呂市全小学5年生・中学3年生を対象とした「いのちのふれあい講座」の実践紹介は、改めてその値打ちを確認し合うよい時間となりました。

これは、学校行事参加型+在宅型家庭教育学級の取組にあたります。



<参加者の感想より>

- ・コロナ禍は個人的に仕事が少なくなり、より子どもと過ごせる時間が取れ、少し生活が苦しくともとても幸せな日々です。また、親としては働き方について考えさせられる日々です。実践カードを使い取組を「見える化」することの重要性はとても勉強になりました。
- ・今日の研修で非認知能力を褒めることや、言い換え言葉（リフレーミング）により自己肯定感を高めることの大切さを知りました。本校のPTAも、「母親委員会」から「家庭教育委員会」と名称を変更しました。今年度は、夏休みを利用し「我が家の簡単朝ごはんレシピ～子どもと一緒に朝ごはんづくり～」を計画しました。取組を通して、子育てに前向きになったり意欲が出たりするといったいいなと思えました。
- ・今年の夏休みは、雨が続きそして昨年続くコロナ禍の影響で、子どもは思うように行動ができず、可哀そうな思いをしているなど思うこともありました。その中でも、限られた日常ではありますが、天気の良い日は川遊びに連れて行ったりキャンプへ行ったりと、大人も子どもと一緒に楽しむことによって子どもとよい思い出ができたと思います。コロナ禍で一番可哀そうなのは未来ある子どもだと思えます。周りの大人がもっと子どもに目を向けて、子ども目線で考えていかなければならないなと思えました。

